

学生花嫁着付けの部 (美容学校生対象)

競技要綱

(1) 競技種目

和装花嫁打掛姿(ヘアは自毛による創作表現、ヘアピース・ヘアアクセサリ使用可)
基本的な花嫁着付け技術を基準とする。

(2) 競技時間

ヘア・メイクから長襦袢の着付けまで …… 90分(監視員立会いの下、控室にて行う)
掛下の着付けからポーズ付けまで …… 25分(ステージにて行う)

(3) 競技時間と競技方法

競技は監視員の指示の下、控室にてヘアスタイル・メイクアップ・体型補正・長襦袢の着付けまでを90分間でを行い、次にステージにて掛下から打掛までの着付けと、草履を履かせ、正面立ち姿のポーズ付けまでを25分間で行う。

(4) 競技規定細目等 ※違反者は、減点若しくは失格となります

《 競技規定細目 》

- 化粧はその競技時間内に清拭から始める。
- モデルが口紅をひく、つけまつげを付ける、またはそれらの手直しをすること等は禁止。
- モデルがピン取りをすることは可。
- モデルがピンを止めること、カーラーを巻くこと等は禁止。
- 掛下・打掛の衿縫いは可。
- 帯の縫止めは「ての先」・「ての元」ひと針ずつの2ヶ所のみ可。
- 前もって帯に形付けをしたり、帯や着物に印を書いたり糸印を付けておくことは禁止。
- 大会本部から貸し出す衣裳・小物以外の使用は禁止。
(金具付き紐の使用は自由)
- クリップの使用は袴止め・袖止め合わせて7本以内とする。
- ステージ上で衣裳・小物等を衣裳箱の外に出すのは、競技開始後とする。
- 草履は打掛を羽織らせた後で履かせること。
- 首振り枕使用の場合は、控室での競技時間90分間の中で準備する。
- 掛下帯の準備にクリップを使用する時は、「ての先」・「ての元」のみ可。
- 帯の幅出しを整え、屏風にたたんで準備しておいてよいが、文庫の羽根の部分は帯幅を開いて平らに整え、いずれも強い折り癖がついていないこととする。
- 掛下文庫の左右の羽根を合わせた時(打掛を羽織る前)、両羽根をクリップで止めることは可。
- 著しく完成された補正用品の使用は禁止。
 - 通常営業で使用する大きさの補正パッドを、その場で重ねてボディー修正していく。
 - 補正パッドを事前に重ね、縫い合わせてあるものは認めない。
 - キャミソール、胸巻きの使用は可。
但し、キャミソールには綿花等を挟んだり、縫い付けていないこと。
 - 胸巻きの巻いた終わりを補正バンド(包帯止め型)で止めることは可。
 - ウエスト及びヒップの補正は分厚く作られたものは認めない。
 - ウエスト及びヒップの補正に単純な紐やテープを縫い付けることは可。
 - ウエストの補正とヒップの補正を一緒に作られたものは禁止。
 - ヒップの補正の仕上げに布一枚を巻くことは可。
但し、布には綿花等を縫い付けていないこと。
 - ヒップの仕上げの布を巻いた終わりを補正バンド(包帯止め型)で止めることは可。
 - 体型補正のためのタオル・綿花の使用は事前に形付けられていなければ可。
- モデルはボディー修正の時、体に付けた補正パッドを一時押さえることは可。
- モデルは長襦袢・掛下の衿合わせをする時に、下前の衿を一時押さえることは可。
- モデルは掛下・打掛を羽織る時、技術者に預けられた長襦袢・掛下の振り帯を一時持つことは可。
- 掛下帯の帯結びの時、掛下の振りをモデルの腕に掛けることは可。
- モデル自身が紐・帯締め・帯あげ等を結ぶことは認めない。
但し、紐・帯締め・帯あげ等を一時持つことは可。
- 打掛ベルト・袖止めの使用は可。
- ポーズ付けの際、掛下の前の裾を整える為にクリップを使用することは禁止。

《 選手の服装・モデル・使用する衣裳等 》

- 選手の服装は白の上衣(襟付き)、黒のスラックスに黒又は白のソックスか、肌色のストッキングを着用。(素足不可)
靴は脱ぎ履きしやすいものに限る。
(ピンヒール・サンダル・ブーツ・スニーカーは禁止)
- モデルは各自同伴のこと。(モデルは学生に限る)
- モデルに使用する下着類・着付け小物・ヘアメイク道具一式は各自持参のこと。
- 衣裳は主催者側が用意し、出場者に貸し出します。申込締切後、衣裳の希望を取り(カラーコピー送付)、希望が重複した場合には大会実行委員会が厳正な抽選を行い、決定した衣裳は送料着払いで大会約一ヶ月前に出場者宛に発送します。
※貸し出し物は芸術祭当日、大会終了後控室にて返却すること。
※貸し出し物の破損・紛失があった場合は、その程度により後日、弁償・請求させていただきます。

貸し出し物

打掛、掛下、掛下帯、長襦袢(背紐付き)、水仙衿、半衿、6点セット(帯締め・帯あげ・抱え帯・懐剣・懐紙入れ・末広)、打掛ベルト、草履、伊達巻2本、袴止め4本、袖止め3本、金具付き紐2組(長襦袢用・掛下用)、帯板(前板・後板)、おからげ用紐2本、衣裳敷
※おしゃれ帯板・衿飾り・刺繍半衿等の使用は禁止。
※競技で使用する衣裳箱は当日貸し出します。

各自持参物

足袋、肌着、着付け小物(紐類・帯枕・補正用品等)、
卓上鏡(縦35cm×横25cm以内)、ヘアメイク道具一式
(ヘアピース・ヘアアクセサリ使用可)、モデル用ガウン又は白衣、他必要品一式

《 当日の行動及び禁止事項等 》

- 当日の行動は監視員及び誘導員の指示に従うこと。
- 競技中、選手同士又は観客と会話等をしてはならない。
- 競技中、選手とモデルは必要以上の会話等をしてはならない。
- 用具等の忘れ物があっても大会本部からの貸し出しは一切しない。
- 他の選手に迷惑をかける言動をしたり、監視員の指示に従わない場合は、退場を命じることがある。
- 競技終了後、選手はモデルに一切手を触れてはならない。
- 審査終了までモデル自身が手直しすることも一切認めない。
- 競技終了後、選手は衣裳箱を持ち、一旦ステージから退場する。
- 審査終了後、選手はステージに戻り、モデルに棲をとらせて一緒に退場する。
- 助手の使用は一切認めない。
- 大会当日、控室は選手・モデル以外は一切入室禁止。
(衣裳の搬入も選手とモデルのみで行う)
- 選手・モデルとも結果発表まで控室で待機すること。
(全員記念撮影あり)
- 結果発表には指示された場所に移動。
- 記念撮影は遠方の方を優先とし、写場に移動する。
(ポーズ付けは担当講師)
- 表彰式の際は、モデル同伴で指示された場所に速やかに移動すること。

※貴重品の紛失・盗難につきましては、主催者側では責任を負いかねますので各自充分にご注意下さい。

(5) 審査事項

大会運営規則に基づき委嘱された審査員が、同規則に定められた「職務要綱」に基づき、審査業務を行う。

(6) 監視事項

大会運営規則に基づき委嘱された監視員が、同規則に定められた「職務要綱」に基づき、監視業務を行う。

(7) 採点精算

大会運営規則に定められた「職務要綱」に記載する。

(8) 順位決定

順位の決定は審査員の採点の合計点に基づき、実施する。

(9) 表彰

入賞者の数については、出場選手の数に応じて大会実行委員長が決定する。

(10) コロナ感染防止についての注意事項 別紙参照